

2018年度 北京師範大学留学報告書

実習先：北京師範大学

実習期間：8月27日（月）～1月7日（月）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21017123

山田瑞希

目次

1 留学先及び実習期間	3
2 留学先概要	3
3 留学の目的	3
4 留学内容	4
4 - 1 留学のスケジュール	4
4 - 2 留学の詳細	5
5 所感	6
6 おわりに	7
謝辞	8

付録

留学日誌	8
------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

留学期間：平成30年8月27日（月）～平成31年1月7日（月）

※帰国は1月7日（月）

2 留学先概要

(1) 大学について

北京師範大学は100年以上の歴史を持つ大学であり、中国初の師範大学として設立された。教師の育成や教育分野の研究で国内をリードする教育大学である。そのため教師、教育学といった分野で活躍する人材や数多くの著名人を多く輩出してきた。あらゆる分野の研究に特化し文系から理系まで数多くの学部がある。

(2) 大学で行われる教育について

教育学、心理学、中国史、地理学、生理学の5学科は全国でもトップレベルである。漢語文化学院では学期初めにクラス編成テストが行われ、1人1人の能力に応じてクラスが決められる。したがって個人の能力に応じた授業が展開される。また、中間テスト後には約1週間の語言実習がある。北京から離れた場所に行き、多くの人とコミュニケーションをとり語学力の向上に加え現地の人々の暮らしを知り、文化や食生活にも触れることができる。

3 留学の目的

留学目的は中国語能力の向上と中国の文化を知ることである。1年生後期から大学の授業内で中国語の勉強をはじめ、基礎知識などを身につけてきた。だがそれはほんのわずかであり、より理解を深めるためには今回の留学が必要であった。日本語に頼ることができず中国語のみを使って勉強する環境は中国語を習得する上で最適な環境である。中国での授業や買い物などの日常生活の中で多く中国語に触れることができるのは非常に良いと考えた。今までの知識に加え新たに語彙力、表現方法を学び、中国語でやりとりすること、中国語検定やHSKにも通用する力をつけることを目標とした。また日本以外の文化を知り共通点や相違点について考えたり、その文化に実際に触れたりしたいと考えた。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	27(月)		到着
	30(木)		クラス分けテスト(筆記・口頭)
	31(金)	留学生入学式	
9	3(月)	授業開始	
	8(土)		日中交流会
	22~24(土~月)	内モンゴル旅行	
11	1(木)	中間テスト	
	2(金)	中間テスト	
	12~18(月~日)	語言実習	
12	27(木)	期末テスト	
	28(金)	期末テスト	
1	4(金)		留学生修了式
	7(月)		帰国

101-2 学級の場合の時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:00~8:45	リーディング	スピーキング	リーディング	スピーキング	リーディング
8:55~9:40					
10:00~10:45	リスニング	リスニング	リスニング		スピーキング
10:55~11:40					
11:40~13:30	昼休み				
13:30~14:15					
14:25~15:10					
15:30~16:15					書道
16:25~17:10					

4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

- クラス分けテスト
授業を行う前にそれぞれの中国語の能力がどれくらいであるか事前に筆記と口頭テストを実施する。テスト結果に基づきクラスが編成される。
- 留学生入学式
留学生の今後の予定や注意事項などの説明がある。
- 日中交流会

北京師範大学の日本語学科の2年生と交流をする。事前に準備した歌、ダンス、クイズなどの出し物を通して交流する。その後日本人と中国人数名ずつのグループをつくり、そのグループ内で会話をしてより深くお互いのことを知ることができた。

- 内モンゴル旅行
内モンゴルへ行き、現地の衣食住、文化に触れた。乗馬体験やゲルに宿泊するなど普段はできない経験ができる。
- 中間テスト
リーディング・リスニング・スピーキングの3教科を実施する。リーディングは筆記の試験、リスニングは聞き取りの試験、スピーキングは口頭・筆記試験どちらも行われる。
- 語言実習
毎年異なった場所に行くが今年度は江西に行った。現地の生活や食事を体験できる。博物館や自然豊かな地域を訪れ歴史も学ぶことができる。いくつかの班に分かれて行動する。班の仲間たちとより親しくなれる。
- 期末テスト
中間テストと同じ方式でテストが実施される。期末テストが終わればあとは修了式を待つのみだ。
- 留学生修了式
先生方からのお話を聞いたり、映像を見たりする。最後には卒業証・成績表を受け取ることができる。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

- 中国語能力の向上

留学に来たばかりの頃は自己紹介や挨拶をかわす程度の会話しかできなかった。だが主に授業を通して次第に語学力が非常に向上した。中国語を用いて中国人と普段の生活、その時に感じたこと、さらには悩みを相談しあったりできるようになった。かたい表現ではなく中国の方々が普段友達と話すときに使うような表現方法も身につけることができた。また食堂やスーパーにいる人々に話しかけられたときに、相手の言っていることを理解しそれに対応することができるようになった。特に話す力が増したと感じる。

- 異文化理解

中国で生活してみて食事、街やお店の様子、交通、中国の重視される日や伝統行事などを実際に見たり知ったりすることができた。例えば日本人は大晦日、新年を重視するため食事や年越しの瞬間は盛大に行われるがこれは中国ではあまり重要なことではない。そのかわり2月の初め頃から何日間も行われる春節は中国人にとって最も大切にされているのだ。また中国人は人と人とのつながりを非常に大切にする。そのためお世話になった人には何か形として残るようなモノをプレゼントするのだ。中国に限らず他国のクラスメイトからそれぞれ自国の話を聞いたり、授業内で自分の国についての発表をする機会があったりしたため各国の文化を知ることができた。

6 反省と課題

交流会で知り合った方々は日本語専攻であり日本語も話すことができるためついその環境に甘えて日本語で会話したことが何度かあった。だが中国語を上達させるためには常に中国語を使用すべきだった。日本に帰国した今、以前に比べると圧倒的に中国語を活用する場面がなくなった。これで終わりにするのではなく中国語の勉強にますます励み、中国語検定やHSKの難易度の高い級への取得に向けて努力していきたい。中国語をいかせる機会があれば積極的に参加し、4か月の留学期間が無駄にならないように過ごしていきたい。

謝辞

今回北京師範大学で授業を通して指導して下さった3人の先生方、日本人会の方々、その他大勢の皆さんに感謝申し上げます。そして留学するにあたりサポートして下さった先生方、学務課の方々にも感謝申し上げます。最後に、本学からいただきました奨学金により、有意義な留学生活が送れましたことを心から感謝いたします。

付録：留学日誌

9月22日～9月24日
内モンゴル旅行
ツアー
内容 ・2泊3日 ・1日目 乗馬体験、ゲルに宿泊 ・2日目 砂漠でアスレチック体験、ラクダに乗る ・3日目 博物館見学

所感

参加者はすべて日本人であり、ツアーの主催者も日本語が話せるため安心して旅行に行くことができた。1日目は移動時間にほとんどの時間を費やし、朝早く出たにも関わらず到着したころには午後を過ぎていた。だがラクダに乗るなど普段日本では経験できないような貴重な時間を過ごすことができた。

11月12日～11月18日
江西修学旅行
担当：漢語文化学院の先生方

内容

- 1 日目 夕方に出発し寝台列車で目的地に向かう
- 2 日目 博物館見学 大学で陶器について学ぶ
- 3 日目 大学で陶器について学ぶ
- 4 日目 大学で陶器について学ぶ
- 5 日目 山登り
- 6 日目 自然に触れる 寝台列車で北京に戻る
- 7 日目 朝方北京到着

所感

1 週間の旅行で多くのことを学んだ。北京を離れて生活してみて、同じ中国内でも文化や食事に違いがあることを知った。いくつかの班に分かれて行動するため同じ班の仲間たちとより交流する機会が増え親しくなることができた。この修学旅行ではじめて知り合った人も多くいてこのような機会を設けてくれた北京師範大学の皆さんに非常に感謝している。特に印象的だったのは5日目の山登りだ。約4時間かけて行った。山頂から見えた景色は美しかった。